

隣人の生活 Neighbor's life

佐藤雄飛 SATO Yuhi

2021年02月03日(水) - 02月13日(土)

OPEN pm 12-7 水・木・金・土曜(日・月・火曜休廊)

佐藤祐飛は、3DCG、写真、版画を組み合わせた作品を制作する版画家です。半透明の亚克力板上に刷られた図形や写真、あるいはそれらの平面を六面体に組んだキューブ型のオブジェなど、複数のレイヤーを塗り重ねることによって得られる版画のテクニックに3DCGという要素が取り入れられた佐藤の作品には、イメージと現実の中間的な感覚を視覚化するという行為が常に試みられています。

中でも、塗り重ねた版画面をさらに六面体に組んだキューブ作品は、半透明の亚克力ルの中にビール瓶やビビットな色調の球体があたかも入っているかのような臨場感を醸し、鑑賞者はその存在感に思わず戸惑ってしまう程です。

本展では、カーテン越しの視界、またカーテンそのものがつくる空間にフォーカスをあてた佐藤の新作を映像と共にご覧いただきます。また関連企画として、佐藤による《soft hope》シリーズ作品を当オンラインショップにて展覧会と同時発売致します。

+1art

佐藤雄飛

SATO Yuhil

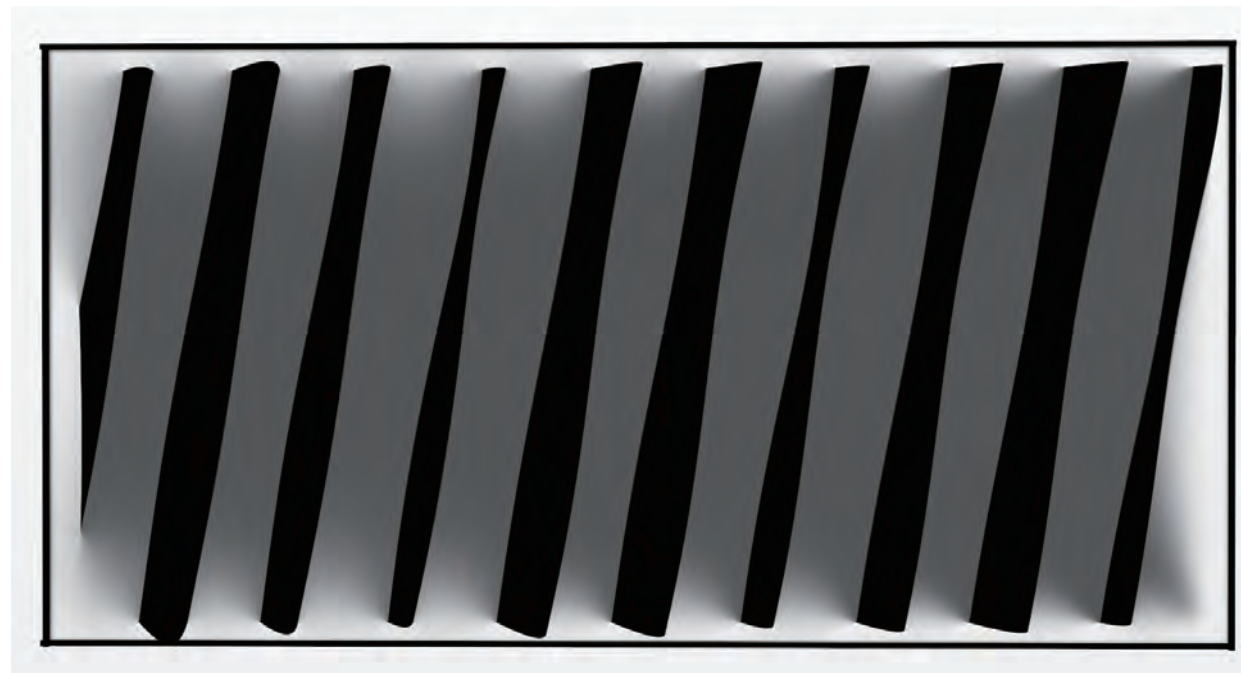


街を歩いていると民家の窓に目が留まった。すりガラス越しに見えるカーテンが、その存在感の無さから日常から切り離されたものを見ている錯覚に陥った。写真、3DCGをハーフトーンスクリーンに加工したイメージと半透明の板を組み合わせ、イメージと現実の境界を視覚的な体験として生みだす。

| 展示作品 |

シルクスクリーン、モノタイプ、亚克力板

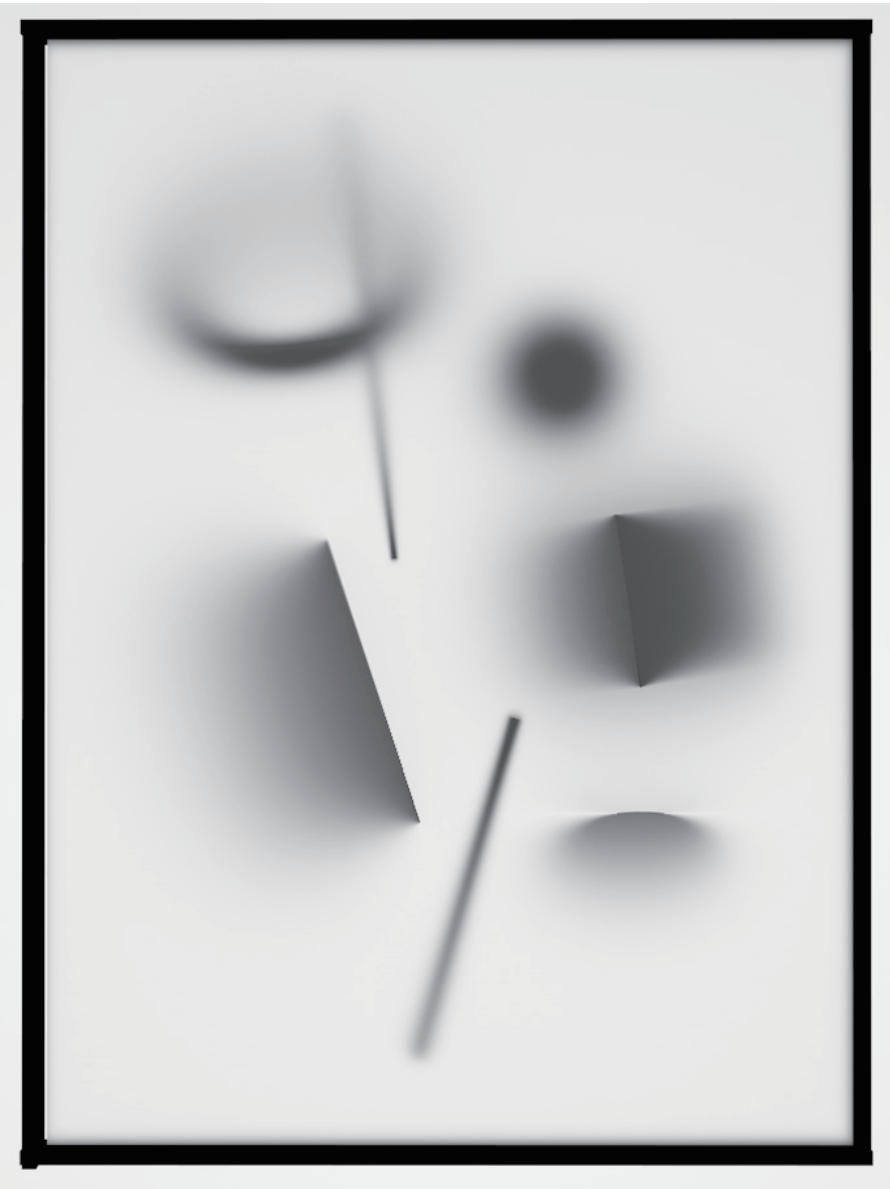
2000×3000mm 1点、378×287mm 9点、50×80×80mm 4点



it should be there #波打つ長方形

2580x1300mm 2020

亚克力板、シルクスクリーン、ステンシル、映像



it should be there #7つの図形

287x378mm 2020

アクリル板、シルクスクリーン、ステンシル、映像

1994 神戸市生まれ
2018 京都市立芸術大学 美術科 卒業
2020 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 修了

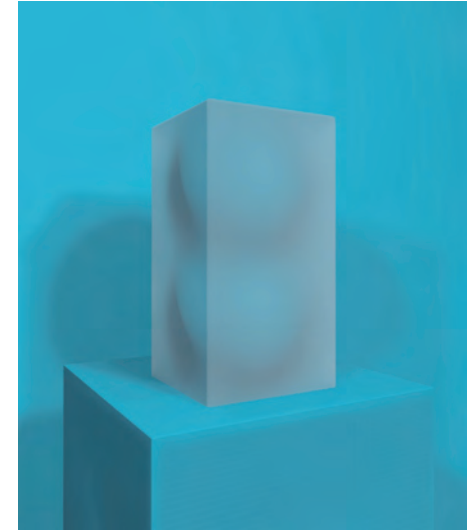
2020 グループ展「VOR KUNST」Van Der Plas Gallery / New York City
2020 グループ展 MA2 Gallery
2020 個展「p/s/b/p/」 +2 gallery
2019 グループ展 チャリティーオークション「小さいわたしたち」 +1 art
2019 グループ展「複眼と対象のノード」 gallery @KCUA
2019 個展「佐藤雄飛展 心象風景とバスルーム」 gallery 16
2019 個展「見えない風景とアイデンティティ」 FORUM KYOTO
2019 グループ展「Stone Letter Project-石からの手紙 #2」
ESPAI NAU U / Escola Llotia Sant Andreu / スペイン・バルセロナ
2018 全国大学版画展 町田市立国際版画美術館
2018 グループ展「PORTO DI STAMPA 2018」 アートゾーン神楽岡
2018 個展「it should be there」京都市立芸術大学・小ギャラリー
2017 グループ展「Stone Letter Project-石からの手紙 #1」
宝塚大学 Gallery TRI-ANGLE
2016 グループ展「刷りかわり」
HOTEL ANTEROOM ギャラリー9.5 (同時開催 元・崇仁小学校)
2016 グループ展「1/9」京都市立芸術大学・大ギャラリー
2015 '16, '17, '18, '19 制作展 京都市立芸術大学

awards

第19回写真「1_WALL」入選
アートアワードトーキョー丸の内2018 ノミネート
第44回全国大学版画展 優秀賞、美術館賞
京都銀行美術支援制度 奨学生
京都市立芸術大学作品展 奨励賞

public collection

町田市立国際版画美術館
京都銀行



it should be there #2つの球

150x80x80mm 2020

アクリル板、シルクスクリーン、ステンシル、映像



presence #heineken

235x60x60mm 2020

アクリル板、シルクスクリーンプリント

| 関連企画 |

Soft hope / やわらかい希望 - vol.4 佐藤雄飛

「希望」は人間に不可欠です。ただ、原理主義などのハードな希望は災いの元。新たな日常にふさわしいのは、持続可能で多様性を認めるソフトな希望です。かつて災厄を振りまいたといわれるパンドラの箱に詰まっていたのは、殆どがハードな希望だったのかもしれませんが。

+1artは、「やわらかい希望」をテーマにした作品を、このシリーズのために用意した専用の箱に入れオンラインショップで販売します。

第4弾は、佐藤雄飛による soft hope 3点を限定販売します。



木製、外側ケース(三方背引出し式)+内箱
H207xW199xD65mm



softhope vol.4-no-1
内箱 190x190x50mm
シルクスクリーン、モノタイプ、アクリル板



softhope vol.4-no-2
内箱 190x190x50mm
シルクスクリーン、モノタイプ、アクリル板



softhope vol.4-no-3
内箱 190x190x50mm
シルクスクリーン、モノタイプ、アクリル板